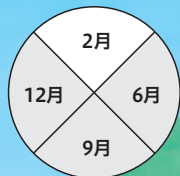


今回の定例会は



ロクマル

市議会だよりさいたま

Saitama City Council No.77 2019.4.30

ロクマル=60 60人の議員は市民の代表。さいたま市議会の動きをコンパクトに伝えます。

www.city.saitama.jp/gikai/index.html



人形作家 金子友紀さん
さいたま市議会本会議を傍聴

市議会の印象や“人形のまち岩槻”の未来、
人形づくりにかける思いを語っていただきました。

トピックス

人形作家 金子友紀さん

さいたま市議会本会議を 傍聴しました

さいたま市岩槻区で生まれ育ち、
人形作家として活躍する金子友紀さん。
市議会の印象や“人形のまち岩槻”の未来、
人形づくりにかける思いを語っていただきました。



さいたま市の郷土の魅力を 全国に効果的にアピールしてほしいですね



「来た方が「人形のまちに来た！」と感じられるスポットは少ないかもしれません。2020年春に開館予定の岩槻人形博物館が、「人形のまち岩槻」を全国に広めるきっかけになればうれしいですね。

——岩槻人形博物館の開館に向けて、さいたま市への要望はありますか？

施設をつくるだけに終わらず、開館後に人形博物館をどう盛り上げていくかが大切だと思います。人形の展示だけでなく、人形づくりの工程を体験できたり、岩槻の歴史が学べたりと、来館者が楽しめる要素があるといいですね。また、県内外に向けた情報発信にも力を入れていただき、例えば、「小江戸川越」を打ち出して観光客呼び込みでいる川越市のように、「人形のまち岩槻」の地域ブランドをつくりあげられたらいいですね。ぜひ、市民の皆さんの声や私たち職人の力を取り込んでいただき、みんなで盛り上げていけたらと思います。

——今後のさいたま市に期待することは？

私は市の観光大使を務めさせていただいたこともあったのですが、さいたま市は、人形だけでなく、盆栽やサッカーなど、バラエティに富んだ魅力のある素晴らしいまちだと思います。私も生まれてからずっと住みつづけていますが、住みづらいつと感じたことはありませんね。これからもずっとさいたま市に住んでいきたいです。一つひとつの魅力を効果的にアピールして、さいたま市の新たなイメージを全国の皆さんに広めていただけたらと大いに期待しています。

思わず聞き入ってしまう 生活に関わるテーマが豊富

——市議会を傍聴した感想はいかがですか？

今まであまり身近な存在ではなかったのですが、子育てや福祉など生活に直接関わるテーマも議論されていて、真剣に聞き入ってしまいました。議員の方も活発に発言されていて、市政への熱意を感じました。

市議会は遠い存在に感じるかもしれないけど、本来は自分たちが住んでいるまちのことを決めている場所なので、もっと関心を持つべきだと思います。ただ、議会が開かれるのは平日昼間なので、働き世代や子育て世代なども傍聴に来やすくなると思います。

——実は、そうした方々のために、さいたま市議会ではインターネット中継や録画配信を行っています。

それは便利ですね！興味はあるけどなかなか傍聴に行けないという方も、気軽に見られますね。私もチェックしてみようかな。

——興味を持たれた議論はありましたか？

「公園における公民連携」の議論は興味深かったです。私もよく愛犬を連れて岩槻城址公園に散歩に行くのですが、岩槻城の黒門が遺されていたり、池やアスレチックなどもある素敵な公園です。毎年秋には人形供養祭が行われますし、桜の名所でもあるんですよ。民間の力を入れることで、市内の多くの公園がより快適に、子どもからお年寄りまでみんなが楽しめる憩いの場所になったらいいですね。

人形づくりの文化を 今を生きる人に伝えていく

——人形作家になられたきっかけは？

父（金子重治氏）が江戸木目込人形の職人で、自宅の工房で節句人形を製作していて、物心ついた頃から父の手伝いとして工房に入っていました。でも、自分が人形作家になるつもりはまったくありませんでした。当時は周りに女性の人形作家はいませんでした。ただ、雛人形は女の子の節句人形ですから、「私だったらこんなお着物を着せたい」「こんな色づかいしてみたい」という思いはいつもありました。自分が欲しいもの、つくってみたいものを形にしたいという思いから、父に改めて弟子入りし、岩槻では女性として第一号の江戸木目込人形の伝統工芸士になりました。

——人形づくりで大切にしていることは？

雛人形は、形で職人の特徴を出すのは難しいです。私の場合は色ですね。紫が好きな作品を見ても、配色で誰のものかわかることもあるんですよ。

——現在、特に力を入れている活動はありますか？

人形づくりの技をさらに磨いていくことはもちろんですが、江戸木目込人形の技法を残しつつ、日常生活でも親しめるような人形をつくっていかれたらと考えています。雛人形は今がクリスマスやハロウィンに負けていると思うんです。なので雛人形だけでなく、大人

かねこ ゆきさん



父であり、また埼玉第一号認定・節句人形工芸士でもある金子重治氏のもと、幼い頃より江戸木目込人形に囲まれて育つ。平成21年、伝統工芸士に認定。平成25年に「さいたま輝き荻野吟子賞」、平成30年には「関東伝統工芸士会長賞」を受賞。人形作家「ゆうき」として数々のイベントに参加するなど多方面で活躍中。

岩槻人形博物館の開館を機に “人形のまち岩槻”をブランドに

——岩槻には、魅力あるスポットが多いですね。江戸時代から人形づくりが盛んで、歴史を感じられる観光名所も数多くあります。今も人形づくりの伝統は継承されていて、雛人形の日本有数の生産地でもあるんですよ。

私が子どもの頃は、雛まつりが近づく週末は雛人形を買い求めるお客様で通りはごった返すほどでした。最近は、デパートやインターネットで購入されるお客様が増えて、わざわざ産地まで足を運ばれる方は減ってしまいました。

岩槻では様々な技術を持つ人形職人が多く活躍しています。でも、生産がメインで自宅を工房にされている方が多いので、外か

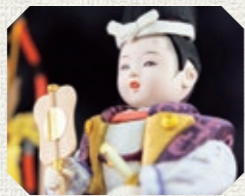
になっても身近に飾っておける、日常に溶け込むような人形があったら素敵ですよ。また、女性工芸士のイベントにも参加しています。全国から集まった陶芸や織物などの女性工芸士と一緒に、製作の実演や体験教室などを行っています。ほかに、地元の小中学校で人形づくりの楽しさを伝える出張授業や、一般の方向けに和雑貨のワークショップなども行っています。

こういった活動を通じて、長年にわたり引き継がれてきた人形づくりの伝統を次の世代に継承し、人形を慈しむ文化を郷土さいたまの魅力にしていけたらと考えています。

What is...

きめこみ 江戸木目込人形

木彫りや桐塑などでつくった胴体に、着物の生地を入れ込み（きめこみ）、衣装を着ているように見せる技法。胴体に着物をまとわせる衣裳着人形（岩槻人形）と比べ、丸みのあるふっくらとしたシルエットが特徴。岩槻で生産されるこれらの人形は、いずれも国の伝統的工芸品に指定されている。



議案第15号 平成31年度さいたま市一般会計予算 ほか17議案

新年度予算議案を可決

市長から提出された新年度予算案は、全会計総額1兆円を超える過去最大の予算規模となりました。予算委員会では、総合政策、文教、市民生活、保健福祉、まちづくり、各区役所などの分野別に審査が行われ、特に、国際自転車競技大会(さいたまクリテリウム)関連事業については、日程を別に設け、集中的に審査が行われました。また、委員会最終日にはそれまでの審査を踏まえ、市長出席のもと、総括的な質疑が行われました。

なお、さいたまクリテリウム開催支援事業については、着実に1年ずつ事業を行うことが重要であるとし、2021年度までの財政負担を約束する債務負担行為については設定しないこととする修正案が議員から提出されました。

本会議での採決の結果、修正案および修正部分を除く一般会計予算議案などの全会計予算議案が可決され、31年度予算が成立しました。



議案第1号 平成30年度さいたま市一般会計補正予算(第9号) ほか1議案

30年度一般会計補正予算議案を可決

国の補正予算を活用した教育の充実や安全・生活基盤の強化などの事業を含む一般会計補正予算議案が可決されました。この主な事業としては、市立中学校の特別教室への空調機設置のほか、防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策に資する事業として橋梁の耐震化工事や電線共同溝整備工事などが行われます。また、消費税率などの引上げによる低所得者や子育て世帯に与える影響の緩和などを目的としたプレミアム付商品券の発行に向けた準備が進められます。

議案第33号 消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

施設使用料などを引上げ

本年10月に消費税および地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられることに伴い、公の施設の使用料、手数料などについて2%相当額の引上げを行うための条例議案が可決されました。

2月定例会で審議された議案 ▶ 市長提出議案75件



議員のQ&A 市のA

2月定例会「代表質問」ダイジェスト

代表質問

5会派11人の議員が、市政に対する代表質問を行いました。質問の一部をご紹介します。

質問者

高柳俊哉／西山幸代／武田和浩／
中山欽哉／青羽健仁／上三信彰／
松下壮一／鶴崎敏康／関根信明／
神田義行／鳥海敏行

立憲・国民・無所属の会

Q *SDGs先進度調査
全国7位の評価をどう捉える

A 日本経済新聞社が全国815市区を対象に「SDGs(持続可能な開発目標)先進度調査」を実施し、本市は7位にランキングされたが、この評価に対する所見を伺う。

A 全国でSDGs実現に向けた取り組みが加速する中、本調査結果は本市の取り組みが一定の評価を受けていることを示すものと考ええる。特に「社会」の分野では、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業や適応指導教室、自転車専用通行帯の整備などが、「環境」の分野では、景観条例の制定や食品ロスを減らすための取り組み、また、次世代自動車や省エネ施設の普及への取り組みなどが高い評価につながったものと考ええる。引き続き、総合振興計画などの主要な計画を着実に推進し、SDGsの達成に貢献していきたい。

Q パートナリシップ宣誓制度
創設に向けた検討状況は

A 「さいたま市パートナーシップ宣誓制度」創設に向けた、市民意見の聴取や部局横断的な検討の状況、また、制度創設の意義と効果について、どのように考えているか伺う。

A 制度創設に向け、先行自治体の状況把握、市民意見の募集やインターネット市民意識調査、同性パートナーに適用可能な行政サービスに関する調査を実施している。これらの調査結果をもとに、支援策の検討、制度設計を進め、31年度中に制度を創設したい。これにより、市民や民間事業者の理解の促進が図られ、性的少数者に対する差別や偏見の解消、当事者の安心感につながるものと考ええる。今後も、正しい理解を進めるための市民啓発、性的少数者が活用できる制度の周知広報を図っていく。

大宮西高等学校の伝統
しっかりと引き継いでほしい

Q 大宮西高等学校が大宮国際中等教育学校に改編されるに当たり、同校同窓会から提出された伝統と文化の継承に関する要望についての検討状況を伺う。

A 要望いただいたモニユメントの設置は、校長、同窓会、PTA、後援会が進めている閉校行事の準備の中で検討していく。記念品の展示は、新しい校舎の事務室前に展示コーナーを設け、卒業生や地域の方が誰でも気軽に立ち寄れるオープンスペースとする。施設の間では、既存の重層体育館を継続利用するとともに、創立50周

同窓会から寄贈された大宮西高等学校の門扉
引き続き大宮国際中等教育学校で利用される



*** SDGs(持続可能な開発目標)**

2015年9月の国連サミットで採択。「貧困の根絶」「働きがい」「気候変動への対策」など、すべての先進国と発展途上国で取り組む、2030年を時限とした17の国際目標。

年記念の際に同窓会から寄贈された正門の扉は、大宮国際中等教育学校で引き続き利用し、寄贈プレートを扉に設置する方向で同窓会と相談していく。

妊産婦・乳幼児に対する災害時の医療支援体制は

Q 妊産婦・乳幼児に配慮した避難所の設置には、医療関係機関との連携も必要だと思いが検討状況は。また、災害時小児周産期リエゾンの導入について、市の見解を伺う。

A 本市では、医師会などの関係者で構成された災害医療体制検討会を開催しており、今後、災害時の妊産婦や乳幼児への医療面での配慮、関係機関との連携などについて意見交換していく。災害時小児周産期リエゾンは、災害時に都道府県の災害対策本部などに設置され、*災害医療コーディネーターのサポートを目的に小児・周産期に特化した調整役として、救護班などの派遣調整などを担う者だが、重要性は十分認識しており、本市も県の研修会に参

加するなど、県と連携して体制強化に取り組んでいきたい。

高齢者などの移動支援 今できることから進めるべき

Q 高齢者や障がい者の移動支援は喫緊の課題である。地域での支え合いやシルバートポイントの活用なども考えられると思うが、今後の支援の在り方について伺う。

A 31年度に高齢者などの移動支援モデル事業の実施を考えている。具体的には、コミュニティバスや乗合タクシー導入の検討対象に属さない工

高齢者などへのさらなる移動支援が必要
(写真はシルバーライフサポート事業)



リアを中心に、社会福祉法人や自治会などの実施主体が車両と運転手を用意し、近距離にある商業施設や病院などに送迎を行う事業に対し、燃料代や保険料などの一部補助を予定している。また、シルバートポイント活用についても調査を進める。モデル事業を通じ、同事業の継続性や他地域への展開などを検証し、本市に必要とされる移動支援の在り方を整理したい。

自由民主党

学童保育が抱える課題 行政の支援について伺う

Q 見沼区はやまばと、大谷、春野学童の周辺では交通安全対策や街路灯の増設が必要である。また、片柳ひかり学童は施設が古く、空き教室の利用が望まれる。さらに民設学童へのAEDの整備など行政の支援について伺う。

A 交通安全対策については、路面表示や立看板の更新など、状況に応じ適切に

対応していく。大谷小学校北側道路は区画整理組合が警察と協議を行い、30年度内に対応予定と聞いている。街路灯については、LEDに交換するなど、歩行者が安全に通行できるように整備していく。片柳小学校の空き教室については活用可能教室の候補を選定したところであり、必要な手続きを進めていきたい。AEDなどの設置は、各運営事業者が負担するものと認識しているが、今後検討していきたい。

未来ある子どもたちのため 学校敷地内禁煙の徹底を

Q 学校は子どもたちが環境被害や健康被害を受けるところであってはならない。受動喫煙や*三次喫煙の被害防止のため、敷地内禁煙を徹底すべき。また、教職員に対する教育委員会の今後の対応方針を伺う。

A 受動喫煙や三次喫煙は、非喫煙者の健康にも影響があると指摘されていることは認識しており、たばこの煙はもちろん、喫煙者の呼気にも児童生徒が触れることがないよう

* 三次喫煙

たばこの火が消された後に、喫煙者の衣類や室内のソファ・カーテンなどに残留する化学物質を吸入すること。

* 災害医療コーディネーター

災害時に、都道府県または保健所が保健医療活動の総合調整を適切かつ円滑に行えるよう支援する者。被災地の医療ニーズの把握、保健医療活動チームの派遣調整などを行う。



大人が責任を持って、子どもが安心安全に過ごせる学校づくりを

最大限に留意しなければならぬ。「改正健康増進法」では学校敷地内に特定屋外喫煙場所を設定できるとされているが、児童生徒の健康への影響を考慮し、全市立学校敷地内禁煙を徹底するように通知した。今後も、児童生徒が健康で安全に過ごせる環境とするため、また、健康管理の観点からも、教職員の禁煙への機運を高めていく。

Q

中長期財政見直しにおける財源不足をどう解消するのか

公表された中長期財政収支見直しでは、財源

不足が31年度からの5年間で2、767億円と見込まれている。これを解消し、市民が納得する市税の使途とするための市の見解は。

A

財源不足については、事業の改善や見直しの徹底とともに、新たな財源の創出により対応していきたい。財政運営に当たっては市民の皆様から納めていただいた市税の使途に対する説明責任を果たし、理解を得ることは大変重要と考える。人口減少が10年後に控えており、福祉などに持続可能な制度を構築しなければならない。そのためには人口増加や企業進出などによる歳入・税収を上げていくための施策を複合的に進めることが大切と考えている。

Q

さいたまクリテリウムの開催その効果を問う

クリテリウムに多額の税金を投入することについて、市民が納得する公益性や効果はあるのか。またその主催を外郭団体に移行するのとどこだが、民間移行と言えるのか。

A

クリテリウムは、毎年10万人前後の来場者を集めており、2018年大会では広告価値で約12億7,000万円、市内の経済波及効果は約9億2,300万円となっていることから、観光や地域経済の振興などに寄与し、公益性があるものと考えられる。次年度以降の主催は一般社団法人さいたまスポーツコミッションに移行する予定としており、複数の民間企業が参画し民間力を最大限活用できることから、民間への移行と考える。現時点では経営の自立化への第一歩を踏み出した段階であると認識している。

Q

さいたま市誕生から17年 市役所本庁舎のあるべき位置とは

地方自治法には、市役所の位置は「住民の利便に最も便利であるように」などの規定がある。本庁舎整備審議会ではどのような議論がされ、市長は今後どう決定するのか。

A

本庁舎整備審議会では公共施設配置図などの様々な資料をもとに、交通事情、

他官公署との関係性、都市づくりとの整合などを踏まえ議論された。また、合併協定書の内容も理解のうえ、さいたま新都心ありきではなく、ゼロベースで議論していただいております。まずは答申で示された諸条件に関して調査し、検討を進めていく。審議会の答申は、専門家や関係団体、市民の視点といった多方面からの十分な議論の結果であり、これを尊重するとともに、今後の調査結果を踏まえ総合的に方向性を出していきたい。

公明党

Q

幼児教育の無償化 円滑な実施に万全の対応を

認可外保育施設の無償化の対象範囲について、市は独自の基準を定めるのか。また、多子世帯の負担軽減のため、現状の減免制度を維持していくのか、見解を伺う。

A

本市としては、認可外保育施設に対する指導体制の充実を図り、指導・助言

を継続して行うことにより保育の質の確保を図ることが重要であると考えており、対象範囲を狭める基準は定めない方向で検討を進めている。また、本市の認可保育所などでは第1子の年齢によらず第3子が無償となるよう国を上回る負担軽減を実施してきたが、無償化によって多子世帯の軽減制度に変更はないと伺っていることから、現行制度を維持しながら、引き続き利用者負担の軽減に努めていく。

自助・共助への支援で 防災意識の向上を

Q 自助・共助の取り組み支援のため、女性視点の防災ガイドブックを作成しては。また、市の防災訓練の日などを「さいたま市家族防災会議の日」に制定してはどうか。

A 防災ガイドブックについては、女性視点の防災対策を盛り込むとともに、音声コードの導入など、誰もが様々な情報を手に取って読めるよう工夫を凝らして作成していきたい。また、「さいたま市家族防



総合防災訓練などへの参加をきっかけに
防災について家族で話し合うことも大切

会議の日」の制定だが、災害について理解を深めることが大変重要と認識しており、日頃から家族で話し合う機会を設けていただけると、市総合防災訓練・防災フェアや出前講座を通じ、啓発に努めていきたい。

人件費補助制度を導入し 積極的な保育士の確保を

Q 待機児童が最も多い1歳児の受け入れ拡大のためには、保育士を手厚く配置する必要がある。協力する保育施設にはその人件費を補助すべきと考えるが、市の見解は。

A 保育士の確保は本市としても喫緊の課題と認識しており、民間保育所などの常勤保育士給与の上乗せ補助や、保育士宿舍の借り上げ支援、用務員の配置に対する補助制度など、積極的な支援を展開している。1・2歳児の受け入れ拡大に積極的な保育施設に対する人件費の支援は非常に有意義であると考えているが、課題も含め今後研究したい。待機児童が多い状況は県南地域共通の課題であり、関係各市とともに県と協議していくことと併せ、市内の保育関連団体と連携し、適切かつ効果的な保育士確保のための支援策を強化していく。

A

保育士の確保は本市としても喫緊の課題と認識しており、民間保育所などの常勤保育士給与の上乗せ補助や、保育士宿舍の借り上げ支援、用務員の配置に対する補助制度など、積極的な支援を展開している。1・2歳児の受け入れ拡大に積極的な保育施設に対する人件費の支援は非常に有意義であると考えているが、課題も含め今後研究したい。待機児童が多い状況は県南地域共通の課題であり、関係各市とともに県と協議していくことと併せ、市内の保育関連団体と連携し、適切かつ効果的な保育士確保のための支援策を強化していく。

学校トラブルへの対応に *スクールロイヤーの導入を

Q いじめや児童虐待の防止、教員の負担軽減などの観点から、文部科学省の「スクールロイヤー活用に関する調査研究事業」に本市も参加し、同制度を導入すべきでは。

A 学校でのトラブルを法律により解決しようと

する機運は、今後顕著になることが予想されるため、スクールロイヤーの導入が必要と考えている。導入により、学校がいつでも相談できる体制が整い、法律に照らし合わせた問題解決が図られるほか、教員が本来業務に集中できる環境づくりにもつながると考えている。また、研修会などで弁護士が直接指導すること、いじめの予防教育効果も期待できる。国の事業に申請してスクールロイヤーを積極的に活用し、本市にふさわしい導入策を検討していく。

自民党真政

本庁舎の整備に関する 調査状況と今後の対応は

Q 現在、本庁舎整備審議会への答申に基づき、新都心周辺800m以内の場所を調査中と伺っているが、その結果はいつ報告されるのか。また、その後の対応はどうするのか。

A 現在、同審議会からの答申に示された課題に

* スクールロイヤー
学校でのいじめやトラブルなどに関し、学校からの法的な相談に対応し助言などを行う弁護士。

ついで調査を行っており、その結果は本年10月頃を目途としている。できるだけ早く調査結果が得られるよう進めていきたい。また、調査の進捗状況にもよるが、例えば現在使用している本庁舎の今後のビジョンなどを描くことが必要となった場合は、建物の耐用年数を考慮したうえで今後どのくらい使用するかという課題もある。これらの諸課題については、現在行っている調査と並行し、内部的な検討も進めていきたい。

**大宮駅GCS化構想
実現に向けてどう進めるか**

Q 構想の実現に向け、(仮称)GCS(グラッドセントラルステーション)プラン案の策定について、目指す内容や31年度の進め方、策定後のスケジュールについて伺う。

A 31年度は、(仮称)GCSプラン骨子案のパブリックコメントを実施し、駅改良計画や道路整備計画などの個別計画について検討を深めていきたい。また、並行してまちづ



GCS化構想の具現化に向けたイメージバース(確定しているものではありません)

くりガイドラインの検討も進め、東日本の対流拠点としての大宮の将来イメージをパースや模型によりビジュアル化して関係者との合意形成を促進し、31年度末には骨子案をブラッシュアップした(仮称)GCSプラン案としてまとめていきたい。2020年度には必要な都市計画手続きに着手できるように、積極的に取り組んでいく。

**北部医療センター跡地
地域の期待に応える活用を**

Q さいたま北部医療センターの跡地について、

区民からは運動施設、公民館、児童センター、多目的広場などの複合施設での建設要望があるが、その検討状況を伺う。

A 同跡地の利活用については、31年度に作成する利活用方針に関する検討を進めており、現在、本市の強みを生かしたまちづくりに寄与し、特に「健康・スポーツ」をコンセプトとした機能の導入を検討している。また、その事業手法としては、公費負担を低減し周辺エリアの価値を高める公民連携手法の導入を前提に検討を進めていきたい。利活用方針の作成に当たっては、今後、地域の皆様の要望を踏まえつつ、民間事業者からの提案も受け、施設の構成やスケジュールなどを検討していきたい。

日本共産党

**国民健康保険税の値上げ
今後も続くのか**

Q 国民健康保険税引き上げの条例案が今議会に

提出されている。一般会計からの繰り入れを段階的に減らし、その分を被保険者に負担してもらうというやり方を今後も続けるのか。

A 国民健康保険制度を持続可能な制度とするため、一般会計からの法定外繰入金に大きく依存することなく財政運営を行っていく必要がある。本市では、2026年度までに赤字を解消したいと考えており、まずは医療費および保険給付費の適正化、保健事業・事務の効率化、保険税の収納対策の推進などに取り組み、国保財政のさらなる健全化を図っているところである。また、医療保険制度改革にとどまらず、制度が抱える構造的な問題の解決に必要な財政措置の実施などを、引き続き国に要望していく。

**待機児童解消に向けた
市の取り組みは**

Q 31年4月の保育所入所申し込みの不承諾者数および待機児童解消に向けた認可保育所の整備状況は。また今



保育士確保に向け、東北・信越地方などの学生を対象に市内保育施設見学なども実施

後、処遇改善による保育士の確保や、保育所整備をどう進めるのか。

A 人口や女性就業率の増加に伴い、保育所などへの新規利用申込者数が毎年過去最多となっていることから、31年4月の開所に向け、認可保育所を16カ所整備し、1,229人の定員増を図った。本年4月の入所に向けた1次募集時点での不承諾者数は2,789人となっており、今後も計画目標である2021年度の待機児童解消に向け認可保育所などの整備を進めていく。保育士の確保策としては、常勤保育士に対する

給与上乗せ補助や保育士宿舍の借り上げ支援などを実施しているが、引き続き他都市の事例などを研究していきたい。

**消費税率の引き上げ
国に中止を求めるべき**

Q 29年度決算の結果からも市民の暮らしは改善されていないと考える。国の勤労統計の不正問題により消費税率引き上げの根拠も崩れており、

国に増税中止を求めるべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 消費税は税源の偏在性が少なく、特定の方に負担が集中せず、

税収が安定していることから、今後も見込まれる社会保障関係費の増加に対し、国・地方の財政健全化を同時に達成するうえで極めて重要な財源であると認識している。消費税率10%への引き上げについては、社会保障の安定財源の確保、国・地方の財政健全化、雇用や給与の動向を含めた経済状況など、総合的な見地から国において適切に判断されるものと考ええる。

さいたま市議会からの

お知らせ

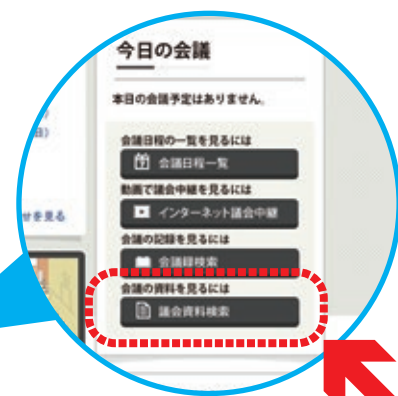


○ 議会資料検索システムをご利用ください

市議会では、本会議や委員会で配布される各資料や議案の議決結果などを、議会資料検索システム内で随時公開しています。各資料はパソコンやスマートフォンなどから閲覧・ダウンロードすることができますので、ぜひご利用ください。

議会資料検索システムは市議会ホームページからご覧いただけます。

さいたま市議会 検索



総合政策委員会

企業誘致と産業集積による 産業推進を研究

本市が誘致した「さいたま市リーディングエッジ企業」であるカルソニックカンセイ(株)、クラリオン(株)を視察し、本市移転のメリットや人材育成支援、社会インフラ貢献などの話を伺いました。また、大分県や熊本市などの県外視察においても、企業誘致や産業集積など、今後の本市の産業推進の参考となる取り組みを学ぶことができました。



独自技術、製品を創出するカルソニックカンセイ(株)を視察

常任委員会 活動レポート

常任委員会は、議案の審査だけでなく、市民生活に深くかかわる課題について調査・研究を行っています。最近の活動内容をご紹介します。



市民生活委員会

情報政策の推進により 市民サービスの向上を

AIなどの先端技術の革新が著しい現代、それらの技術の自治体運営への活用は大きな課題であり、コストも含めた十分な検討が必要とされています。市民サービスの向上や効率的な行政運営に向けて、ICTを活用した市役所における取り組みや、本市が保有する行政データの利活用方法などについての調査・研究を行いました。



京都市ではオープンデータを活用した独自の取り組みを視察

文教委員会

文化芸術に触れることで さいたま市を潤いのある都市へ

「文化芸術と街づくり」を調査・研究のテーマに、国際芸術祭や芸術交流などで、先進的な取り組みを行っている香川県、愛知県、岡山市を視察しました。本市でも、2020年に国際芸術祭の開催が予定されていますが、市民が気軽に文化芸術に親しめるものとなるよう、また、未来を担う子どもたちがのびのびと学べる都市となるよう研究していきます。



愛知県ではトラックによる巡回展示など特色ある事例を調査

まちづくり委員会

ICTを活用した 新たなまちづくりを目指して

大分市、福岡市を視察し、中心市街地や駅の再整備におけるVR(バーチャルリアリティ)技術の活用事例を学びました。歩行者の視点の違いによるまち並みの見え方や、車線の増減による歩道幅員の変化などをVRで再現し、事業の検討や市民説明会で活用した事例は、今後の本市のまちづくりにとって大変参考となるものでした。



大分市では中心市街地の整備におけるVR技術の活用事例を視察

保健福祉委員会

ノーマライゼーション社会の 実現を目指して

誰もがいきいきと笑顔で暮らせるさいたま市を目指して、特に障がい者支援について調査・研究を行いました。福岡県の柚の木福祉会を訪問した際には、小学校内の空き教室を利用した知的障がい者作業所を視察し、利用者と児童が日常的に触れあう環境の中で「心のバリアフリー」を醸成する、ダイバーシティに向けた取り組みなどを学びました。



福祉部門でグッドデザイン賞を受賞した柚の木福祉会の取り組みを視察

ロクマル キーワード
Keyword

2月定例会の中から気になる言葉を取り上げ、解説します。



『受動喫煙対策』

法改正により「望まない受動喫煙」をなくす
たばこの煙には、ニコチンやタール、一酸化炭素などの有害物質のほか、多くの発がん性物質が含まれています。そして、喫煙者が吸い込む煙だけでなく、周囲の人が吸い込む煙、いわゆる「受動喫煙」による健康被害、リスクが報告されています。昨年7月には、受動喫煙対策を強化するため、健康増進法が改正され、今年1月には、喫煙する際の配慮義務¹に関する規定などが施行されました。今後、施設における喫煙の禁止などの規定が段階的に施行されます。

健康増進法の改正に関する詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

施設の類型・場所ごとに段階的に実施
まず、今年7月には学校や病院、行政機関の庁舎などが敷地内を含めた全面的な禁煙²に、そして、2020年4月には飲食店などをはじめ、その他多くの人が利用する施設も屋内禁煙³となります。本市でも、九都県市での連携した普及啓発活動をはじめ、改正法の内容や喫煙による健康影響について周知することで、さらなる受動喫煙対策に取り組んでいきます。

- *1 できるだけ周囲に人がいない場所で喫煙する、子どもや患者などが集まる場所では喫煙を控えるなど。
- *2 国の基準を満たせば敷地内(屋外に限る)に喫煙場所の設置が可能。
- *3 国の基準を満たせば屋内に喫煙場所の設置が可能。飲食店については、一定の条件を満たす場合は別に法で定める日までは喫煙可とする経過措置あり。

編集後記

議会広報編集委員会

今号のトピックスでは、人形作家の金子友紀さんに本会議を傍聴いただき、お話を伺いました。女性職人ならではの感性を生かしつつ、地域の伝統文化をしっかりと受け継ぎ、次の世代に継承しようとする真摯な姿勢が感じられました。市議会議員は4月30日で現任期が満了となり、5月から新たな市議会が始まります。今後も「市民に開かれた、わかりやすい議会」の実現に向け、その役割をしっかりと果たしていきますので、引き続き「ロクマル」のご愛読をよろしく願います。

- [委員長] 新藤信夫 [副委員長] 高野秀樹
[委員] 西沢鈴子 大木 学 新井森夫 浜口健司
稲川智美 池田麻里 武山広道 土井裕之
島崎 豊

さいたま Diary

与野公園 バラ園

風がさわやかなこの季節、与野公園には色とりどりのたくさんのバラが咲いていて、とても幸せな気分になれるんです。5月には「ばらまつり」があるんだって。カメラを持って出かけてみようかな。

アクセス 与野町駅より徒歩約15分

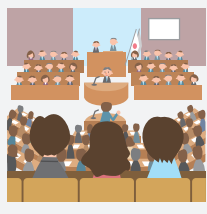
今号の表紙の場所は 中央区

次の定例会は
6月

会期日程は、ホームページをご覧ください。くわしくは議事課(Tel.829-1753)までお問い合わせください。

傍聴

本会議は当日の受付で傍聴できます。開催当日、議会棟3階の議場ロビーまでお越しください。



インターネット中継

会議の様様をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。



テレビ番組

毎定例会後、広報番組「ようこそさいたま市議会へ」をテレビ埼玉で放送しています。くわしい放送日時は秘書課(Tel.829-1748)までお問い合わせください。過去に放送した番組も市議会ホームページで配信しています。

